

教育の窓

9月

八百津をこんな町にしたい！ 「夏休み子ども未来トーク」より

8月4日（木）ファミリーセンター大研修室において、夏休み「子ども未来トーク&ヴァイオリン演奏会」が開催されました。町内小中学校7校と八百津高校からの各代表に加えて、町出身の若者2名が八百津の未来につ

いて意見を交換しました。赤塚町長をはじめとする関係者がそのトークに対してコメントをするという形式で会を進めました。



ヴァイオリンの演奏家、加藤菜津子さん、ピアニスト岡本博美さんにもトークに加わってもらいました。お二人の奏でる美しい調べをトークの合間に聞くことができ、とても素敵な会になりました。このトークでは、7月初旬に行った町内の小中高生（519名分）のアンケート結果も参考にしながら、進めていきました。以下、未来トークでの発言やアンケートの中の子どもたちの声をお伝えします。

「八百津町が好きですか？」という質問に対して9割に近い460名が、「好き」「どちらかというところ好き」と回答しています。しかしながら、「八百津町にずっと住みたいですか？」という質問に対しては、4割から5割の子どもたちが町外に住みたいという回答をしています。一度町外に出てから、八百津町に戻ってくるという考えを持っている子どももいますが、その理由について意見を聞きました。

・交通の便が悪く、働く場所も限られてくるから
・自分自身の見聞を広げたい ・お店が少ない
・活気がない などの意見が出されました。そこで、どんな町にしていったらよいかを尋ねたところ、

- ・活気、熱意があふれる町 人口（若者）増加
- ・若い人もお年寄りも元気な町



- ・お店がたくさんあって子どもがたくさんいる町
- ・交通の便の良い町
- ・子育てや仕事をしたいと思える町
- ・秩序、マナーのある町、公共心アップ
- ・今のまま、のどかで自然の多い町
- ・街灯が多く、安心安全な町
- ・一人一人が町をきれいにしようという意識がある町
- ・親から子への教育を大切にできる町
- ・ゴミ袋の安い町
- ・特売品の大量出しのある町

アンケートでは、「大型のお店があるといい」という意見も多かったのですが、パネラーの意見



としては、小さくても八百津らしさがあり活気があれば、人は集まってくるという意見にまとまりました。豊かな自然と温かい人柄を大切にしたい町

を作っていきたいという意見も。

ヴァイオリニストの加藤さんが「エキゾチックな町ですね。」という感想を話してみえましたが、外から見た八百津町の良さを今一度確認しながら、今現在ある自慢できる町の財産を集結して、内外にピ・アールしていくことが大切であると感じました。

H24年度 中学校使用教科書の採択結果

来年度から中学校の学習指導要領が新たになることで可茂地区教科書採択協議会において研究調査・選定され、八百津町教育委員会で新教科書を下表のように採択しました。なお小学校においては、23年度より新教科書がスタートしています。

国語	光村図書	英語	東京書籍
書写	東京書籍	音楽	教育出版
社会	東京書籍	美術	日本文教
社会地図帳	帝国書院	保健体育	東京書籍
数学	大日本図書	技術家庭	東京書籍
理科	東京書籍		